浄土真宗本願寺派 順光寺 寺報

順光寺だより

第４号

2018(平成30)年12月31日発行

順光寺内陣

住職就任のご挨拶

順光寺住職　籠　純吾

慈光照護のもと、順光寺門信徒の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申しあげます。

平素は順光寺の護持発展にご尽力いただいておりますこと厚く御礼申しあげます。殊に昨年度よりお願いをさせていただいております本堂改修事業においては、種々ご多用の中、ご協力をいただいておりますこと、重ねて御礼申しあげます。

すでに文書にてお知らせいたしております通り、この春、本山での書類手続きを終え、順光寺第18世住職（宗教法人 代表役員）に就任いたしました。

2018（平成30）年度より順光寺は新体制となります。先人のご尽力により守り継がれてきた歴史と伝統を受け継ぎ、浄土真宗の「聞法の道場」として、門信徒の皆さまの心の拠り所となれるようなお寺にしてまいります。より一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう何卒よろしくお願い申しあげます。

合掌

新体制のスタート

順光寺総代会会長　福井幸隆

寺報「順光寺だより」も第４号を発行する運びとなりました。編集委員の皆さまのご尽力に感謝いたします。

今年度より新住職が就任し、順光寺の運営体制も一新いたしました。今まで以上に、門信徒の皆さまの声が寺院運営に反映されるような運営体制を続けていきたいと思います。

社会情勢の変化に伴い、寺院を取り巻く環境は目まぐるしく変わっています。時代に即応した寺院運営のあり方が求められる中、順光寺総代会では、新体制のもと様々な案件に取り組んでいるところです。多くの課題がありますが、できるところから着実に解決をしていきたいと考えています。

来年春には本堂改修事業が着工予定です。門信徒の皆さまには、本事業に多大なるご尽力をいただいておりますこと、厚く御礼申しあげます。

将来にわたって順光寺が護持発展していくため、引き続きご協力をいただきますようお願いいたします。

題　　字:順光寺前住職　籠 博道
表紙写真:順 光 寺 住 職　籠 純吾

順光寺本堂改修事業概要報告

昨年度お願いさせていただきました本堂改修事業について、門信徒の皆さまには多大なるお力添えをいただいておりますこと、ありがたく存じます。

改修工事の内容が決まり、８月に業者と本契約を締結いたしました。概要について次の通り報告させていただきます。

門信徒の皆さまが参拝しやすい環境を作ることを目的とした工事を行います。ご法事･お墓参り等、工事期間中はご不便をおかけいたしますが、ご容赦願います。

本事業は、この順光寺を将来にわたって護持していく上で大切なものです。引き続き、ご尽力くださいますよう何卒よろしくお願い申しあげます。

依頼業者

松江中央住宅 有限会社

工期

着手（予定）2019年４月１日
完成（予定）2019年11月30日
（完成の日から７日以内に引渡）

現在の本堂

工事内容

本堂屋根・梁改修	屋根瓦工事、 屋根下地・補強工事
本堂耐震壁設置	北面の東西一間分を壁構造に改修 東壁に筋違い補強 南壁両側に構造用合板を補強
本堂アルミ製建具工事	本堂北側の戸をサッシ戸に取り換え
本堂木製建具工事	本堂の障子をワーロン障子に取り換え
本堂向拝階段取付	木材：ヒバ材、束石：ミカゲ
本堂縁取付	木材：ヒバ材、束石：ミカゲ
庫裡台所改修工事	床・壁・天井改修、給排水、照明工事
本堂畳替え	80枚
電気工事	本堂内照明配線改修、台所照明配線改修
木の伐採	境内の木の伐採（駐車場、墓地）

順光寺仏教婦人会の活動

「第61回　中・四国地区仏教婦人大会」に参加して

籠　順子（坊守）

８月30日、第61回 中・四国地区仏教婦人会大会が徳島市・アスティ徳島で開催され、順光寺婦人会・春日会長と一緒に参加しました。

中国地方・四国地方から、およそ3600人の仏教婦人の皆さんが参加されました。

講演は、気仙沼市の「すがとよ酒店」店主の菅原文子さんで、東日本大震災の津波で義父母やご主人を亡くされたお話でした。

――周りの方が「亡くなった人の分まで生きてね」と言うが、自分のことで精一杯だった。人の分まで背負えない。そんな時、ある僧侶に「あなたはあなたの人生を生きたらいい」と言われ、気持ちが楽になれた――

「あなたを思って」放つ言葉が､必ずしもその人のためにはならない。ただ寄り添うだけの方が、かえって良い場合もある…そんな風に思いました。

菅原さんは、その後、中央仏教学院にて通信教育で浄土真宗を学ばれたそうです。

「家や物は波に奪われたが、自分の心の中にあるお念仏は誰にも奪われない」という力強い言葉に、私はすごく心打たれました。

講演第二部は、法話楽団 迦陵頻伽。ご法話を聴かせてもらいつつ、みんなで歌を歌いながらの、とっても味わい深いステージでした。

そしてアトラクションは阿波踊り！

いろんな衣装の方が、華やかにコミカルに、最後を飾ってくれました。非常に充実して、そして泣いて泣いたステージでした。

松江組仏教婦人会連盟大会

期日：6月24日（日）

会場・主催：徳応寺（安来市）

ご講師は、加納美術館館長の神 英雄先生。妙好人についてのご講義をいただき、順光寺を再興した神谷ご家老のお話も興味深く聞かせていただきました。順光寺からは10名参加しました。

ようこそお参りくださいました

光顯寺（兵庫県豊岡市）仏教壮年会の皆さま

6月17日

仏教壮年会の研修旅行で、順光寺にお参りくださいました。松江までバスで４時間。遠路ようこそお参りくださいました。

2018（平成30）年　順光寺行事報告

写真で振り返る順光寺の１年

修正会（しゅしょうえ）

元旦の朝に御仏前にお参りし、心を新たにする法要です。正信偈のお勤めの後、お抹茶をいただきました。

1/1

3/21

春彼岸・永代経法要

亡き人をご縁とし、お寺にお参りし、故人を追慕し、報恩の営みをするとともに、自分自身が聞法のご縁をいただく法要です。

今年は、お彼岸に入って急に冷え込み、この日も外は冷たい雨と風。寒い中、ようこそお参りくださいました。

お花見会

順光寺仏教婦人会主催による毎年恒例のお花見会。今年は、安来市・清水寺へ。総代さんやご夫婦連れの方も多数ご参加いただきました。

4/10

門信徒総会（旧・門信徒の集い）

昨年までは「門信徒の集い」として開催していましたが、今年から「門信徒総会」と名称を改め、開催しました。

事業や予決算、本堂改修事業について、貴重なご意見をいただきました。また、本堂改修事業の計画について、写真を提示いただきながら、福井改修委員長より説明をいただきました。

盆前清掃

毎年８月第１土曜日に、盆前の一斉清掃を行なっています。境内の草取り、仏具磨き、本堂の清掃の後、本堂でお勤め。婦人会の皆さまが作られた朝ご飯をみんなで美味しくいただきました。

今年初めて参加された方もおられました。おかげさまで、今年も気持ち良くお盆を迎えることができました。

報恩講法要

ご開山・親鸞聖人のご恩徳を報謝する法要です。

心配していた台風の影響も少なく、無事お勤めさせていただきました。ご講師は、順光寺と古くからご縁のある、出雲市龍善寺のご住職・柳樂由乗師。

今年から午前・午後と法座を開き、多数のお参りをいただきました。

来春の順光寺の法要案内

修正会（しゅしょうえ）

日時：2019年1月1日（火・祝）午前10時～

毎年、午前７時からお勤めをしていましたが、2019年は午前10時からお勤めいたします。

年の初めに、心新たな気持ちでお勤めさせていただきましょう。

春彼岸・永代経法要

日時：2019年3月21日（木・祝）午前10時～

春のお彼岸の中日にお勤めいたします。亡き方をご縁とし、報恩の気持ちからお聴聞のご縁をいただく法要です。

順光寺トピックス

住職補任式報告

11月１日・２日、大石総代理事と一緒に、本山・西本願寺にて住職補任式を受式しました。

「補任式（ほにんしき）」とは、浄土真宗本願寺派のご門主から、新住職が就任の辞令を授かる儀式のことです。

２日目、お晨朝（じんじょう）（早朝のお勤め）・帰敬式（ききょうしき）の後、西本願寺・阿弥陀堂にて住職補任式を受式しました。全国から集まった新任住職・門徒総代の方々と一緒に阿弥陀堂で受式します。寺院ごとに名前を呼ばれ、新任住職・門徒総代が２人でご門主の前に歩み、手渡しで辞令をいただきます。

最後に、阿弥陀堂の向拝（ごはい）で記念撮影。この日いただいた辞令は、門信徒の皆様へのお披露目となる住職継職法要にて披露させていただきます。

すでに書類上は住職に就任していますが、阿弥陀堂のご尊前でご門主から辞令を直接いただくことで、「浄土真宗本願寺派・順光寺」を預からせていただく責任の重さを改めて感じました。秋の京都で、心新たな気持ちになりました。

（住職：籠　純吾）

初日は、聞法会館で研修を受けます。開会式の後、新任住職･門徒総代と別々の部屋に分かれ、研修を受けます。新任住職の研修内容は、「宗教法人の実務と運用」、門徒総代の研修内容は「門徒総代の願い」をテーマに、それぞれ宗務所の担当の方よりご教示いただきました。その後、開会式の会場に戻り、「これからの宗門～ご親教『念仏者の生き方』に学ぶ～」「宗門の重点プロジェクトについて」と、それぞれ講義をいただきました。

※皆さまへのお披露目となる住職継職法要につきましては、本堂改修事業完遂後、落慶法要と併せて執り行う予定です。日取りが決まりましたら改めて案内させていただきます。

ご門徒さんの作品

松江菊花展　吉岡利雄さん

昨年から門徒総代を務められている吉岡さんは、松江城山公園馬溜で毎年開催される「松江菊花展」に、長年にわたり出品されています。

2018年は、10月24日から11月６日まで開催され、「文部科学大臣賞」「新日本海新聞社賞」を受賞されました。

災害により被災された皆さまにお見舞い申しあげます

2018年は、島根県西部地震、大阪府北部地震、台風被害、平成30年７月豪雨、北海道胆振東部地震など、災害が多発した年となりました。

県外にお住まいのご門徒の中には、災害による被害に遭われた方もいらっしゃいます。

衷心よりお見舞いを申しあげますとともに、一日も早い復興を心から願います。

FAX番号変更のお知らせ

この度、順光寺のFAX番号を変更いたしました。
お手数ではありますが、お控えの番号をご訂正くださいませ。

順光寺　新FAX番号　0852-67-3276　※電話番号に変更はございません

編　集　後　記

皆様のご協力で、寺報第４号をお届けすることができました。

お寺も若い世代になり、身近に感じていただくお寺にしていこうと、報恩講法要を１日２回開くなど、新しい試みがされています。

婦人会も毎月10日に例会があり、信心で繋がっているという仲間意識から、心安く会員が集います。

しかし、今の時代なかなかお寺に参拝することや情報を得ることはできません。

寺報によって、ご門徒の皆様に少しでも情報をお伝えすることによって、絆が深まっていくことを願っています。

寺報編集委員会委員　増野富枝

浄土真宗本願寺派順光寺寺報
順光寺だより　第４号
2018（平成30）年12月31日発行

編集　順光寺寺報編集委員会
発行　浄土真宗本願寺派
豊饒山 順光寺
印刷　株式会社谷口印刷

浄土真宗本願寺派 順光寺

揮毫：細田青秀氏（順光寺ご門徒）

〒690-0881　松江市石橋町44
TEL 0852-23-3718　FAX 0852-67-3276
E-mail　info@junkouji.net
公式サイト　https://junkouji.net
順光寺　検索
junkouji.matsue　@junkouji　junkouji_matsue

Photo by Nagatani Jungo

仏法は聴聞に極まる

法話・写真　籠 純吾（住職）

「聞」といふは、衆生、仏願の生起本末を聞きて疑心あることなし、これを聞といふなり。「信心」といふは、すなはち本願力回向の信心なり

（『教行信証』信文類）

「お聴聞（ちょうもん）」とは、お寺にお参りし、仏さまのお話（ご法話）を聞かせていただくことです。

私が僧侶になる少し前のこと、先輩のご住職様からこんな言葉をいただきました。

「浄土真宗はいわゆる修行はないけれども、『お聴聞』が浄土真宗の行（ぎょう）と考えるといいよ。」

「聴聞」という言葉には、「聴く」「聞く」の２つの漢字が当てられています。「聴く」はこちらから積極的に聞くこと。英語だと「hear」です。一方、「聞く」は耳に入ること、英語では「listen」。受動的に聞くということですね。

本願寺第８代宗主・蓮如上人は、

「仏法は聴聞に極まる（御一代記聞書）」

と仰せになります。

蓮如上人は、ある日ご門徒からこんな相談を受けました。

「ご法話の最中は、ありがたく聞いているのですが、一歩外に出ると、全部忘れてしまいます。籠で水をすくうようなものです。どうしたら良いのでしょう？」

蓮如上人はこう答えられました。

「籠を水から上げるから漏れるのです。籠を水に浸けておけば漏れません。そのような気持ちでお聴聞されたらどうでしょうか。」

お聴聞は、学校の授業や研修の講義とは違います。また、なんどもお聴聞することで、ご利益（りやく）のようなものがいただけるわけでもありません。

煩悩に振り回されているこの私こそが、阿弥陀如来さまの救いの本当のお目当てであった、私のいる場所はまさにお慈悲の中にあった、そのように聞かせていただくのが「お聴聞」なのです。